

平成26年6月30日
独立行政法人 防災科学技術研究所

J-SHIS 地震ハザードステーションを高度化 地理院地図に対応した J-SHIS Map 等を公開

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は6月30日、J-SHIS 地震ハザードステーションに新機能を追加したバージョンを公開します。J-SHIS は、より多様なユーザに対して地震ハザード情報を正しく伝え、広く活用いただくため、機能の高度化を行っています。今回追加される機能は以下の3つです。

1. 地理院地図をベースマップに

J-SHIS Map の背景地図として、国土地理院の地理院地図をご利用いただけるようになります。より多くの方にお使いいただけます。

2. 3つのAPI*1を新規に公開

J-SHIS Web API より、地震活動モデル情報提供 API、長期間平均ハザード情報提供 API、地すべり地形情報提供 API が新規に公開されます。また、API のレスポンスを確認しつつリクエストの生成を行える URL ビルダー*2が公開されます。

3. スマートフォン向け J-SHIS アプリのアップデート

J-SHIS アプリ（iOS 版）の改修を行い、新しい地図等を追加しました。また、地震ハザードカルテのスマホビューが手軽にご利用いただけるようになります。

J-SHIS にアクセスするための URL は、 <http://www.j-shis.bosai.go.jp> です。

1. 内容：別紙資料による。

2. 本件配布先：文部科学記者会，科学記者会，筑波研究学園都市記者会

■ 1. 地理院地図を背景地図として利用■

国土地理院の提供する地理院地図 (<http://portal.cyberjapan.jp>) を背景地図として利用できるようになりました。

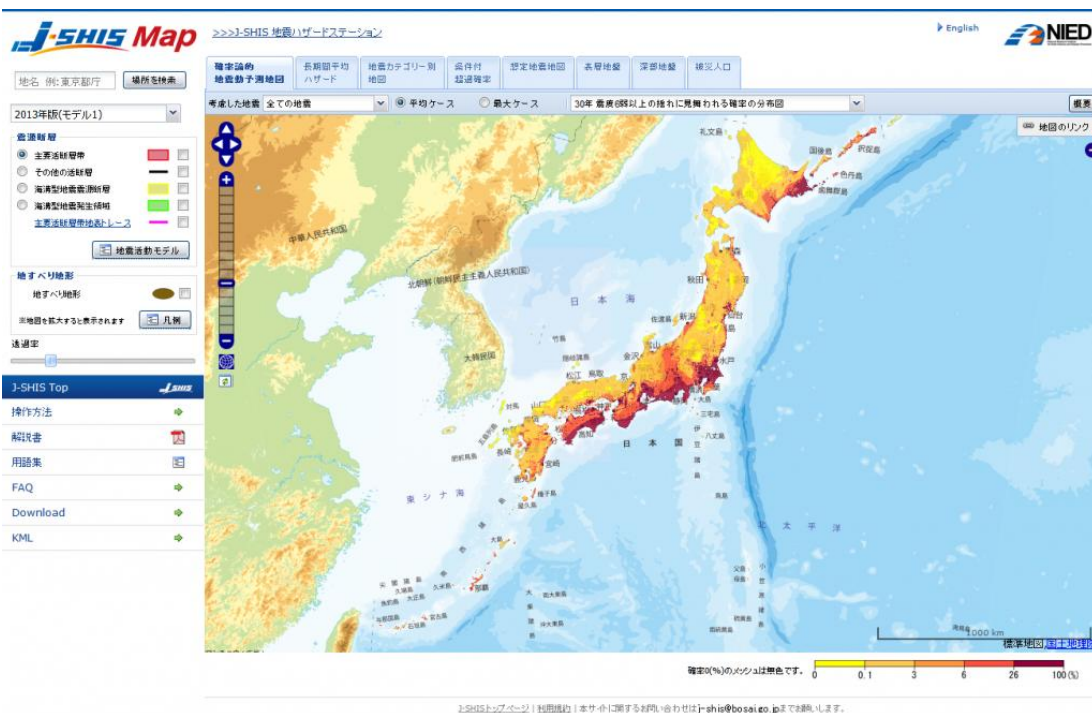


図1 地理院地図上に表示された J-SHIS 地図 (確率論的地震動予測地図 2013 年モデル 1)

J-SHIS では今回の機能追加により、国土地理院の地理院地図を背景地図として利用できるようになりました (図 1)。同時に地図の縮尺表示にも対応しています。これにより、より多くの方にご利用いただくことが可能となります。なお、これまでの Google Maps の地図は、レイヤー切り替えボタンから選択して表示することができます (図 2)。

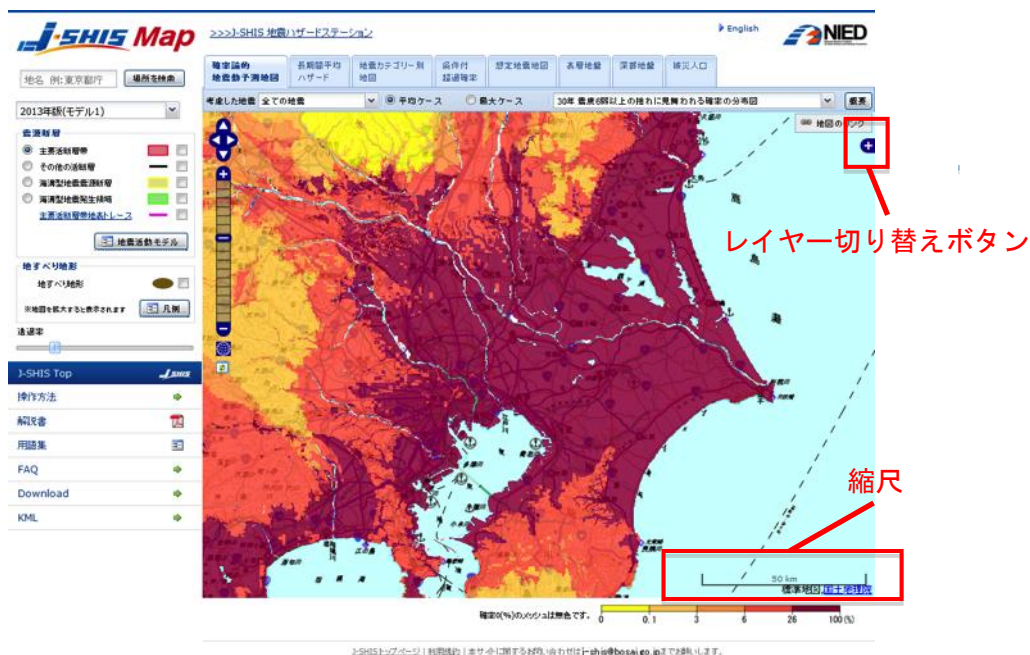


図2 縮尺の表示

■ 2. J-SHIS Web API から新たな API と URL ビルダーを新規に公開 ■

- ・地震活動モデル情報提供 API (<http://www.j-shis.bosai.go.jp/api-pshm-fltinfo>)
J-SHIS から公開している様々な種類の地震活動（震源断層）モデルに関して、マグニチュードや平均発生間隔などのデータを取得する API です。
- ・長期間平均ハザード情報提供 API (<http://www.j-shis.bosai.go.jp/api-avghzd-meshinfo>)
まれに発生する大きな地震に対応する長期間平均ハザード地図（500 年～10 万年）の震度を 250m のメッシュごとに取得する API です。
- ・地すべり地形情報提供 API (<http://www.j-shis.bosai.go.jp/api-landslide-isContaining>)
全国を判読した地すべり地形分布図 (<http://lswb1.ess.bosai.go.jp>) の滑落崖もしくは移動体に、ある任意のメッシュが重なるか判定する API です。

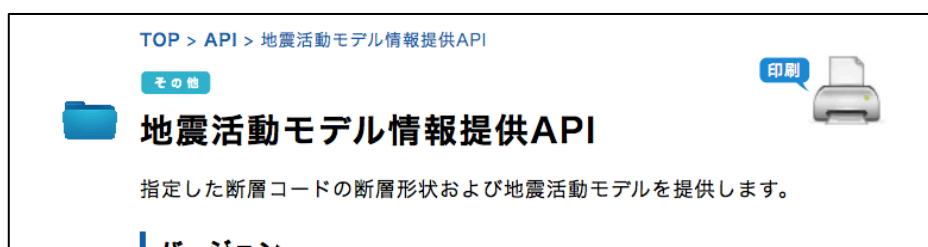


図3 地震活動モデル情報提供 API（ドキュメントページ）

- ・URL ビルダーの公開 (<http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/api-builder/>)
開発者向けの URL ビルダーを公開しました。

J-SHIS WebAPI URLビルダー

J-SHIS WebAPI URLビルダーは、フォームに必要な情報を入力すると、APIのURLを自動生成します。URLビルダーを利用すると、簡単にAPIのURLを作成することができます。

情報提供サービス

サービス名	URLビルダー	APIマニュアル
地震ハザード情報提供API	日本語	日本語
ハザードカーブ情報提供API	日本語	日本語
地震活動モデル情報提供API	日本語	日本語
長期間平均ハザード情報提供API	日本語	日本語
表層地盤情報提供API	日本語	日本語
表層地盤物性値情報提供API	日本語	日本語
深部地下構造情報提供API	日本語	日本語
深部物性値情報提供API	日本語	日本語
地すべり地形情報提供API	日本語	日本語

情報検索サービス

サービス名	URLビルダー	APIマニュアル
メッシュ別被害地震検索API	日本語	日本語
自治体別被害地震検索API	日本語	日本語
メッシュ検索API	日本語	日本語

図4 URL ビルダーの一覧

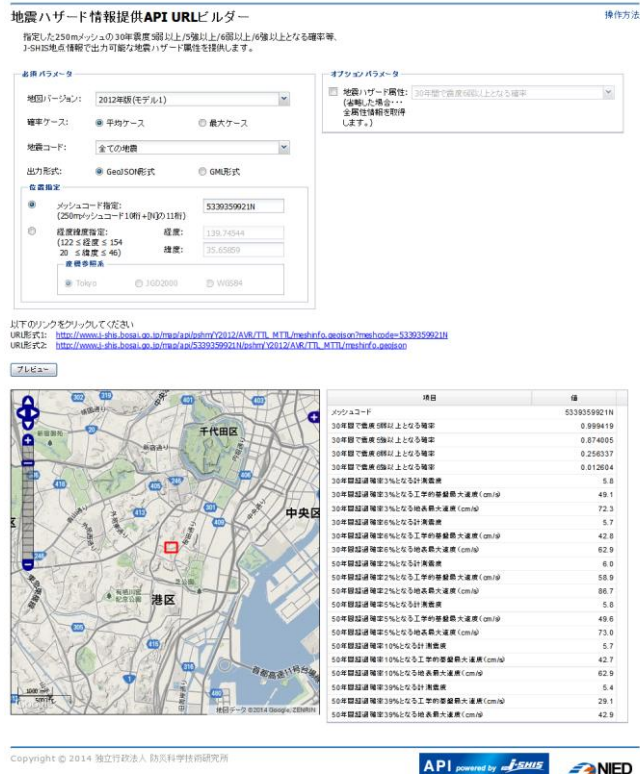


図5 地震ハザード情報提供 API URL ビルダー

■ 3. J-SHIS アプリ (スマートフォン向け J-SHIS Map) ■

- ・ iOS 版アプリを改修し、以下の機能を追加しました。
 - ・ iOS7 に対応しました。
 - ・ 2013 年版の全国地震動予測地図に対応しました。
 - ・ 長期間平均ハザード地図を表示できるようになりました。
 - ・ 地点情報から地震ハザードカルテを表示できるようになりました。

なお、J-SHIS アプリ (iOS 版) では 2013 年版のモデル 1 を表示しています。



図6 J-SHIS アプリ ver. 1.2 スクリーンショット

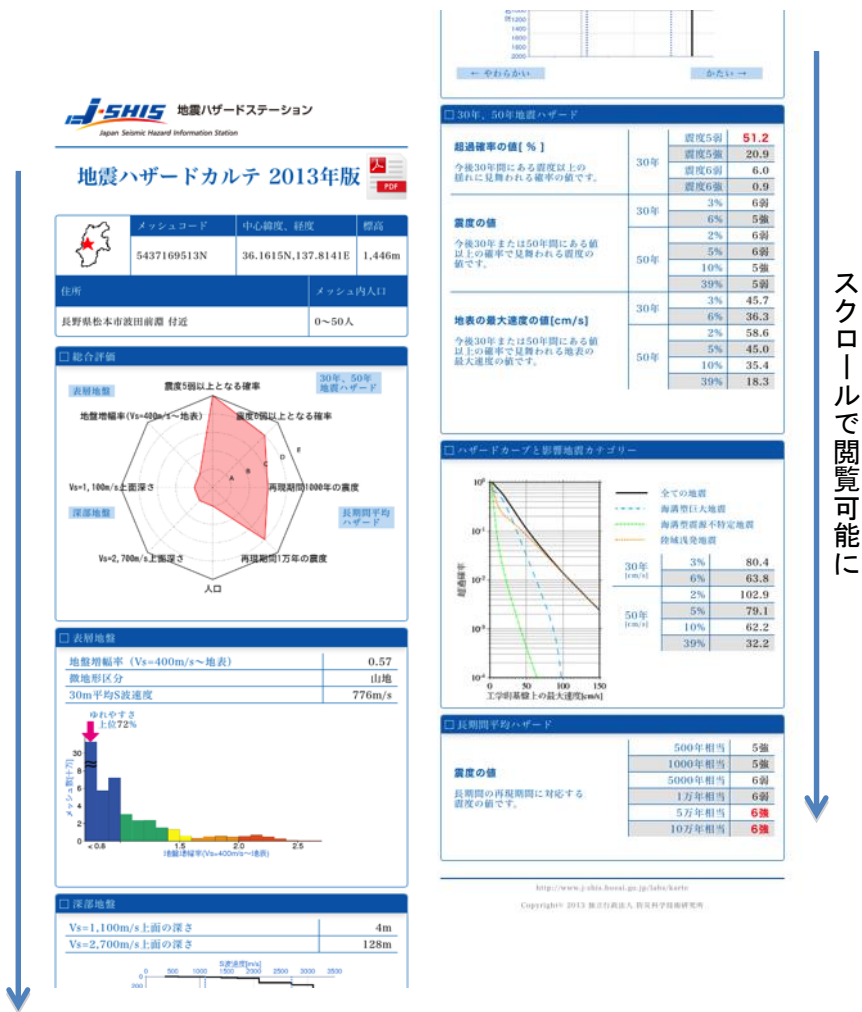


図7 地震ハザードカルテのスマホビュー

(注釈)

- *1 API : アプリケーションプログラミングインタフェース。例えば J-SHIS Web API ではプログラムから J-SHIS の情報を簡単に利用できるようにするため、提供者と利用者との間での情報のやりとりの仕方を定め、それに従ったデータ提供を行っています。
- *2 URL ビルダー : API を使うかどうか検討するにあたって、出力を求めたい条件を指定 (リクエスト) することで、対応する J-SHIS の情報 (レスポンス) がどのようなものかをチェックできる、URL の生成サービスのことです。

<参考情報>

Strong Ground Motion Prediction and Seismic Hazard Assessment, Journal of Disaster Research, Vol. 8, No. 5, October 2013

<http://www.fujipress.jp/JDR/DSSTR00080005.html>

J-SHIS について : J-SHIS 地震ハザードステーションは地震防災に資することを目的に、日本全国の「地震ハザードの共通知報基盤」として活用されることを目指して作られました。J-SHIS Map の活用方法については下記 URL からご確認いただけます。

<http://www.j-shis.bosai.go.jp/usage>